平成２６年度　認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成２７年３月

　安城市（愛知県）

**○計画期間：平成２５年４月～平成３０年３月（５年）**

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

|  |
| --- |
| **１．平成26年度終了時点（平成27年3月31日時点）の中心市街地の概況**平成２５年３月２９日に内閣総理大臣の認定を受けた「安城市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地活性化の基本理念である「にぎわい　こだわり　環境のまち」を実現するため、４つの活性化基本目標を立て各事業を実施している。基本計画には、３６の事業を登載しており、そのうち平成２６年度には３４の事業（うち完了５）に取り組んでいる。これらの事業を実施することにより、歩行者通行量や活性化事業に参加した市民の数は増加傾向であり、空き店舗数は減少するなど中心市街地における賑わいの創出が見られる。　しかし、一方で中心市街地の居住人口は土地区画整理事業による移転が進み、一時的に減少傾向である。　中心市街地をめぐる現状としては、平成２６年１２月に中心市街地における買い物の拠点のひとつであった「ピアゴ安城店」が撤退し、その跡地に「（仮称）バロー安城日の出ショッピングセンター」が建設を予定している。　また、中心市街地交流広場では拠点施設となる図書情報館建設に向けた準備工事に着手し、広場内既存施設の解体・撤去が行われている。　さらに平成２６年１２月からは官民が連携したカーシェアリング実証事業として超小型電気自動車「き～☆モビ」の運用が始まり、ＪＲ安城駅を中心に１０ケ所のステーションが設置され住民、来街者の新たな交通手段として活用されている。**２．平成26年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**　安城市中心市街地活性化協議会で出た主な意見は以下のとおりである。　・３６事業のうち３４の事業が完了および着手済みであることから概ね計画の進捗状況は順調であると実感している。　・目標指標に対する達成状況も順調であるが、数値ほど活性化している実感はない。　・更なる活性化のためには事業のスピードアップが求められる。 |

Ⅱ．目標毎のフォローアップ結果

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **１．目標達成の見通し**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 前回の見通し | 今回の見通し |
| 都市機能の集積による「にぎわいのある都市拠点」の形成 | 歩行者通行量（人） | 2,750（平日）2,166（休日）（Ｈ23） | 2,867（平日）2,192（休日）（Ｈ29） | 3,366（平日）2,796（休日）（Ｈ26） | － | ① |
| 安城にしかない魅力満載の「こだわり商店街」の形成 | 空き店舗数（店舗） | 64（Ｈ23） | 46（Ｈ29） | 35（Ｈ26） | － | ① |
| 繁盛店数（店舗）（繁盛店の割合（％））※参考目標 | 35（19）（Ｈ22） | 65（35）（Ｈ29） | 21（32）（Ｈ26） |  | ① |
| 多様な主体との連携・協働による「市民が主役のまち」 | 活性化事業に参加した市民の数（人） | 1,279（Ｈ23） | 1,525（Ｈ29） | 1,586（Ｈ26） | － | ① |
| 人と環境にやさしい「まちなか居住環境」の形成 | 中心市街地の居住人口（人）　※参考目標 | 3,710（Ｈ24） | 3,710（Ｈ29） | 3,620（Ｈ26） | － | ① |

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。**２．目標達成見通しの理由**　①「歩行者通行量」について新美南吉観光事業や「安城まちなかホコ天きーぼー市」などの活性化イベントを実施した結果、中心市街地への来街者が増え、平成２６年度の通行量調査では、平日３，３６６人、休日２，７９６人と既に目標値に達している。今後は中心市街地拠点整備事業や南吉観光事業を行っていくことにより、更なる歩行者通行量の増加が見込まれることから目標達成は可能と見込んでいる。　②「空き店舗数」について　　商店街コーディネーターが中心市街地への出店希望者の要望を聞き取り、把握している物件とのマッチングを行うことで空き店舗への入居者が増加し、平成２６年度の空き店舗調査では、空き店舗数は３５店舗と既に目標値に達している。今後は、商店街コーディネーターが把握している最新の空き店舗状況を容易かつ素早く検索できる空き店舗情報サイトを活用し、積極的に情報を発信することで、更なる空き店舗の減少が見込まれることから目標達成は可能と見込んでいる。　　③「繁盛店の数」について　　平成２６年度の商店街振興組合を対象にしたアンケートでは繁盛店の数が２１と基準値である平成２１年度の３５店舗と比較して、１４店舗減少している。これはアンケートの有効回答数が異なるためで、「まちの教室」を実施し、商店主が消費者と交流することにより意識改革を行ったことでリピーターの増加や店舗の売上げにつながり、繁盛店の割合は平成２６年度が３２％と、平成２１年度の１９％から１２％上昇している。今後は、まちなか産直市拡大事業である「安城まちなかホコ天きーぼー市」や商店街飲み歩き事業「ごち天」で市民や市外からの来街者に店舗をＰＲし、新たな顧客の拡大につなげることで繁盛店の増加が見込まれることから目標達成は可能と見込んでいる。④「活性化事業に参加した市民の数」について　　「まちなかギャラリー事業」や「願いごと事業」、「安城まちなかホコ天きーぼー市」などのイベントへ参画する市民が増加したことから、平成２６年度の活性化事業に参加した市民の数は、１，５８６人と既に目標値に達している。今後も毎月第４土曜日に中心市街地で開催している「安城まちなかホコ天きーぼー市」の時間帯、開催エリアを拡大して開催することで更なる参加者数の増加が見込まれることから目標達成は可能と見込んでいる。　⑤「中心市街地の居住人口」について　　中心市街地の居住人口は土地区画整理事業による移転が進み、平成２６年度の中心市街地の居住人口は３，６２０人と、基準値である平成２４年度の人口３，７１０人と比較して９０人減っている。今後は、南明治第一土地区画整理事業区域内のセンターゾーンに大規模なマンションの建設が予定され、多くの世帯の入居が見込まれることから目標達成は可能と見込んでいる。３．前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由　初回のフォローアップであるため、前回フォローアップは実施していない。 |
| ４．目標指標毎のフォローアップ結果「歩行者通行量（平日・休日）」※目標設定の考え方基本計画P５３～P５６参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 人 |
| H23 | 2,750（平日）2,166（休日）（基準年値） |
| H24 | 3,010（平日）1,877（休日） |
| H25 | 3,217（平日）2,004（休日） |
| H26 | 3,366（平日）2,796（休日） |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 | 2,867（平日）2,192（休日）（目標値） |

●調査結果の推移　グラフ※調査方法：平日と休日の午前９時から午後７時の１０時間を計測※調 査 月：平成２６年１０月※調査主体： 安城市※調査対象： 中心市街地４地点における歩行者の通行量●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果①．中心市街地拠点整備事業（中心市街地活性化用地）（安城市、清水建設㈱他）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２８年度【未】 |
| 事業概要 | 中心市街地活性化用地を利用し、にぎわいの創出や活性化を目的とする公民複合施設や広場を整備する。それにより、交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 契約事業者が事業選定手続きにおいて提出した提案書類を基に、設計協議を行いながら設計図書の作成を行った。今後は広場内既存施設の解体・撤去を行っていくことで交流人口の増加を図る。 |

②．南吉観光事業（安城市、㈱安城スタイル）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 新美南吉生誕100年にあわせ、空き店舗を活用した南吉館を設置・運営し、観光の拠点とする。また、南吉ウォーキングを開催するなど、半田市とも連携を取りながら観光ルートの整備、紹介を行う。それにより交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 「南吉ウォールペイント事業」を実施。平成２３年度から平成２６年度までに２６箇所２８作品にウォールペイントを描き、南吉あしあと表示板を設置。また、南吉さんぽＭＡＰを作成した。平成２７年度も継続してウォールペイントとあしあと表示板を設置していくことで交流人口の増加を図る。 |

③．三世代交流の場の整備事業（安城市中心市街地活性化協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 空き店舗に子育て支援機能や高齢者支援機能を導入し、育児に悩む母親達が気軽に立ち寄れたり、高齢者が暮らしの知恵を授けたりする三世代交流の憩える場を創出する。それにより、地域で必要とされるコミュニティ機能の強化を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成26年度は南吉館において「たまりんば」として事業を７回実施し、計８５人の参加があった。今後は南吉館だけでなく、様々な場で三世代交流の場を広げていくことで交流人口の増加を図る。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策 平成２６年時点で既に目標値に達しており、また、主要事業は順調に進捗しているため、目標達成は可能と思われる。今後については中心市街地拠点整備事業を実施することによる来街者の増加や南吉観光事業において新たな観光スポットを設置することによって観光客を増加させることで、さらに実績を伸ばしていきたい。「空き店舗数」※目標設定の考え方基本計画P５７～P５８参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 店舗 |
| H23 | 64（基準年値） |
| H24 | 62 |
| H25 | 38 |
| H26 | 35 |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 | 46（目標値） |

●調査結果の推移　グラフ※調査方法： 現地調査をして確認※調 査 月：平成２７年３月※調査主体：安城市※調査対象： 平成２３年度末時点の空き店舗６４店舗●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果①．空き店舗等情報発信事業（安城市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 空き店舗調査を行い、結果を「空き店舗システム」に反映させる。それにより、既存店舗の有効利用を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度に㈱安城スタイルと委託契約し、㈱安城スタイルが実施している空き店舗調査結果を反映させた空き店舗情報サイトを構築した。平成２７年度はシステムを活用し既存店舗の有効利用を図る。 |

②．空き店舗活用事業（安城市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 商業機能を確保するため、家賃・改装費を補助し、創業支援を行う。それにより、既存店舗の有効利用を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は９店舗に対して補助を実施した。平成２７年度は補助金要綱の改正を検討することで既存店舗の有効利用を図る。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策 平成２６年度の空き店舗調査で既に目標値に達しており、また、主要事業は順調に進捗しているため、目標達成は可能と思われる。今後は、商店街コーディネーターが把握している最新の空き店舗状況を容易かつ素早く検索できる空き店舗情報サイトを活用し、積極的に情報発信を行い、空き店舗活用事業補助金を活用しやすくすることで、更なる空き店舗の減少を目指していきたい。「繁盛店の数（繁盛店の割合）」※目標設定の考え方基本計画P５８～P５９参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 人（％） |
| H22 | 35（19）（基準年値） |
| H23 |  |
| H24 |  |
| H25 |  |
| H26 | 21（32） |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 | 65（35）（目標値） |

●調査結果の推移　※調査方法：アンケートを実施※調 査 月：平成２６年５月～６月※調査主体： 安城市※調査対象： 商店街振興組合の組合員●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果①．中心市街地共同事業（まちの教室など）（安城中央商店街連盟）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | まちの教室の開催や、Ａｋｉｎｄ（情報誌）の発行などに対して事業費の補助を行う。それにより、魅力ある店づくり、情報発信の充実を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度はまちの教室を全21講座実施した。またまちなか情報誌「Ａｋｉｎｄ」を10月に３，０００部発行した。平成２７年度も継続して実施することで魅力ある店づくり、情報発信の充実を図る。 |

②．安城シティブランド事業（安城中央商店街連盟）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 安城スタイルの策定によって示される商業のイメージを実践するため、安城スタイル講座の運営、安城ブランド顕彰、安城スタイル商品開発、安城シティプロモーションなどを展開する。それにより、安城シティブランドの確立を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は「きーぼーの街宣言」賛同店を応援店として募集。今後も募集を継続することで安城シティブランドの確立を図る。 |

③．商店街飲み歩き事業（安城中央商店街連盟）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 店舗を自由に選んで、居酒屋、スナック、レストラン等、飲食店の飲み歩きイベントを開催する。それにより、交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は翌年度のイベント実施に向けて事業の見直しを検討した。平成２７年度５月にイベント（ごち天プレミアム）を実施することで交流人口の増加を図る。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策 　　平成２６年度の商店街振興組合を対象にしたアンケートでは繁盛店の数が２１と基準値である平成２１年度の３５店舗と比較して、１４店舗減少している。これはアンケートの有効回答数が異なるためで、繁盛店の割合は平成２６年度が３２％と、平成２１年度の１９％から１２％上昇しており、また、主要事業は順調に進捗しているため、目標達成は可能と思われる。今後は、まちなか産直市拡大事業「安城まちなかホコ天きーぼー市」や商店街飲み歩き事業「ごち天」で市民や市外からの来街者に店舗をＰＲし、新たな顧客の拡大につなげることで、更なる繁盛店の増加を目指していきたい。「活性化事業に参加した市民の数」※目標設定の考え方基本計画P６２～P６３参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 人 |
| H23 | 1,279（基準年値） |
| H24 | 1,282 |
| H25 | 1,451 |
| H26 | 1,586 |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 | 1,525（目標値） |

●調査結果の推移　※調査方法： 活性化事業にスタッフ及びボランティアとして参加した人数※調 査 月：平成２７年３月※調査主体： 安城市※調査対象： 安城市民●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果①．まちなか緑化事業（安城市中心市街地活性化協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【未】 |
| 事業概要 | 現在進めている「花いっぱい運動」を拡大し、暮らしやすい環境づくりを推進する。加えて地域住民との協働により、緑や花の維持管理活動を行う。それにより、地域コミュニティの強化を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は未実施。平成２７年度以降に協議を行い、地域住民との協働により、緑や花の維持管理の実施し、地域コミュニティの強化を図る。 |

②．三世代交流の場の整備事業（安城市中心市街地活性化協議会）　　【再掲】　　Ｐ５参照③．まちなかギャラリー事業（安城市中心市街地活性化協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 商店街の常設ギャラリーや店舗ショーウィンドウにおいて一般市民や子どもたちのアートを展示する。さらに、新美南吉やアンデルセン等、本市に関係するテーマをアートのまちづくりと結びつける。それにより、交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は岡田菊次郎邸を改装し、「まちのえき岡菊苑」としてオープン。「岡菊苑のひなまつり」など計４回のアートイベントを実施。今後も継続してイベントを開催していくことで交流人口の増加を図る。 |

④．願いごと事業（安城市中心市街地活性化協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 安城七夕まつりを展開し、短期間のイベントに終わらせるのではなく、年間を通じたにぎわいの創出、交流人口の増加を図るため、短冊ロードを常設し、「願いごと、日本一。」をキーワードに願いごとの聖地のPR活動を行う。また、七夕まつりの公式キャラクターである「きーぼー」のブランド化を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度はきーぼー誕生祭など七夕神社において願いごとイベントを計5回実施した。平成27年度は七夕神社のパワースポット化により注力し、各イベントを通して願い事の聖地のＰＲ活動を行うことで年間を通じたにぎわいの創出、交流人口の増加を図る。 |

④．安城七夕まつり事業（七夕まつり協賛会）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | 「願いごと、日本一。」を目指す安城七夕まつりに対し補助を行う。それにより、にぎわいの創出、交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は8月1日から3日にかけて開催し、来場者数は102万人だった。平成27年度は8月7日から9日にかけて開催することでにぎわいの創出、交流人口の増加を図る。 |

④．中心市街地共同事業（安城サンクスフェスティバル）（安城中央商店街連盟）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成26年度【完了】 |
| 事業概要 | 日常の安城のまちに、商店街や町内会、高校生をはじめ様々な市民団体・グループが参加し、体感する安城サンクスフェスティバルを開催する。それにより、にぎわいの創出、交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は１０月２５日に「まちを遊ぼう」をテーマに逸品スタンプラリーや箱ずしのＰＲなどを実施し、にぎわいの創出、交流人口の増加を図ることで、５７人の市民の参加につながった。平成26年度で安城サンクスフェスティバルは終了となった。 |

⑤．まちなか学びと発見ウォーキング事業（安城市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 未設定【実施中】 |
| 事業概要 | まちなかの歴史ポイント、名物商店巡りなど、歴史あり、発見あり、グルメありの１日ウォーキングコースを複数設定し、定期的にボランティアガイドによりウォーキングツアーを実施する。それにより、交流人口の増加を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２６年度は㈱安城スタイルと委託契約し、中心市街地活性化イベントとして毎週土曜日に「まちなか発見!!クイズラリー」を実施した。平成27年度も継続して実施することで交流人口の増加を図る。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策 　　平成２６年度の活性化事業に参加した市民の数は既に目標値に達しており、また、主要事業は順調に進捗しているため、目標達成は可能と思われる。今後については、七夕まつりにおいてゴミかごボランティアなどのボランティア以外にも市民参加の枠を広げ、市民総参加型のイベントとして更なる発展を図ることで更なる参加者数の増加を目指していきたい。「中心市街地の居住人口」※目標設定の考え方基本計画P６０～P６１参照

|  |  |
| --- | --- |
| 年 | 人 |
| H24 | 3,710（基準年値） |
| H25 | 3,693 |
| H26 | 3,620 |
| H27 |  |
| H28 |  |
| H29 | 3,710（目標値） |

●調査結果の推移　※調査方法：住民基本台帳※調 査 月：平成２６年４月※調査主体： 安城市※調査対象： 中心市街地の居住人口●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果①．南明治第一土地区画整理事業（安城市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成３８年度【未】 |
| 事業概要 | 末広町及び花ノ木町において、土地区画整理事業を行う。それにより、安全で安心な市街地の形成と既存商店街の活性化を図る。まちなか居住の促進、商業地の再整備、都市機能の集積による「にぎわいのある都市拠点」の形成に寄与するなど、活性化に必要な事業である。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成２３年度から平成２５年度までに仮住居を２３戸建設した。また、平成２３年度から平成２６年度までに１０９戸の建物移転契約を結んでおり、仮換地指定率は３６％である。平成27年度以降も引き続き実施することで既存商店街の活性化を図る。 |

②．南明治第二土地区画整理事業（安城市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成３０年度【未】 |
| 事業概要 | 中心市街地活性化用地の有効利活用を図るとともに、周辺土地利用の再編を図り、安城市の顔としてふさわしい整備を行うことを目的として土地区画整理事業を行う。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成26年度は4戸の建物移転契約をした。平成27年度中には大規模物件を除く全ての物件の建物移転を完了する予定で、これにより安全で安心な市街地の形成と既存商店街の活性化を図る。 |

③．末広・花ノ木地区住宅市街地総合整備事業（安城市）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成３０年度【未】 |
| 事業概要 | 南明治第一土地区画整理事業との合併施行で、老朽建築物の除去により、居住環境の整備及び建替を促進する。また、事業による住宅困窮者のためにコミュニティ住宅を整備する。それにより、安全で快適な住宅地整備を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成26年度は南明治第一土地区画整理事業との合併施行による老朽建物を６戸買収除却した。平成２７年度以降も引き続き買収除却を実施し、安全で快適な住宅地整備を図る。 |

④．センターゾーン整備事業（センターゾーン準備組合）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業完了時期 | 平成２７年度【未】 |
| 事業概要 | 南明治第一土地区画整理事業の施行地区内で、老朽住宅の建て替え促進を図ることを目的として、共同施設(店舗併用共同住宅）を整備する。それにより、安全で安心な市街地の形成と、まちなか居住の利便性向上を図る。 |
| 事業効果及び進捗状況 | 平成26年度は事業者を決定し、実施設計及び建築確認を行った。平成２７年度４月からは建設工事を着工し、安全で安心な市街地の形成と、まちなか居住の利便性向上を図る。 |

●目標達成の見通し及び今後の対策 　平成２６年度の中心市街地の居住人口は基準値である平成２４年度の数値より減少しているが、主要事業は順調に進捗しているため、目標達成は可能と思われる。今後は、南明治第一土地区画整理事業区域内のセンターゾーンに大規模なマンションを建設することで、多くの世帯が入居することにより目標となる居住人口の達成を目指したい。 |